

低圧流体レギュレータ スプリング制御 BP 25 - 0.5/7 VLP

参考 : 155610600

取扱説明書 582141110

2023-04-13

インデックス A

オリジナルマニュアルからの翻訳

SAMES



13 シュマン ド マラシェ
38240 Meylan



www.sames.com



33 (0)4 76 41 60 60

本書は、サメスの書面による同意がある場合を除き、いかなる形式であれ、通信または複製、およびその内容の利用または伝達を禁止します。

本書に記載されている説明や機能は、予告なく変更される事があります。

© **SAMES** 2023

目次

目次	3
1 安全に関する注意事項	9
1.1 安全	9
1.2 機器の品質	11
2 資料の提示	15
2.1 コンプリートシステム	15
2.1.1 図による一般資料	15
使用状況	15
非意図的な使用	16
2.2 システムの主要な要素説明	17
スプリング式低圧液圧レギュレータ	17
3 機器の識別	18
3.1 設備計画	18
3.1.1 レギュレータ	18
3.2 構成	19
4 技術的特長と性能	20
4.1 技術的特徴	20
5 インストール	22
5.1 搬送	22
5.2 納品範囲確認	22
5.3 推薦資料	23
5.4 保管	23
5.5 取り扱いについて	23
6 使用開始	24
6.1 試運転手順	24
7 診断ヘルプ／トラブルシューティングガイド	25
7.1 故障の考えられる症状／故障原因／適用する対処法-高速動作について	26
8 メンテナンス	27
8.1 資格レベル - 予見可能な介入	27
8.2 安全上のご注意 - 予防的なメンテナンス	27
8.3 メンテナンス周期	28
8.4 洗浄	28
8.5 分解・再組立	29
グリース および スレッドロッカーの指定。	30
予備動作	30
8.5.1 レギュレーションバルブ (2) の清掃	30

8.5.2	シートホルダーアセンブリ(3)、ニードルアセンブリ(8)、ダイヤフラム(7)の交換.....	31
	分解.....	31
	再組立.....	31
9	スペアパーツ.....	33
9.1	部品表.....	34
9.1.1	サービスキット.....	35
9.2	オプション.....	35

ドキュメントの改訂表

記録修正				
エディター	オブジェクト	改訂版	日付	改訂者
F.SEGUIN	低圧液圧レギュレータ スプリング式	A	08/23 週	

お客様、この度は新しい機器をご購入いただき、誠に有難う御座います。
 お客様に御満足いただける様、設計から製造まで徹底してこだわりました。
 良好な使用と最適な可用性の為に、機器を使用する前にこのマニュアルをよくお読み下さい。

保証

サメス社は、本取扱説明書に記載された使用条件が遵守される事を条件に、お客様に提供された日から12ヶ月間の契約上の保証を致します。

保証請求は、問題となる不具合を書面で正確に定義し、不具合のある材料および/または部品を添付し、お客様がサメス社から機器を取得した条件を通知する必要があります。

サメス社は、「欠陥」のある機器を分析した後にのみ、保証の実施を承諾または拒否致します。サメス社が付与する保証は、「機器」の全体交換または欠陥部品の部分交換に限定されます。

サメス社は、不良品の交換に必要な部品代のみを負担するものと致します。

サメス社の保証適応外

- お客様の施設における保管および/または保存の異常な状態に起因する欠陥および劣化、または技術規則に適合していない、またはサメス社がお客様にお渡しした本技術取扱説明書規定を遵守していない機器のメンテナンスまたは使用について。
- **サメス社が承認していない交換部品、またはお客様により改造された部品に起因する欠陥および損害、またはお客様による機器の構成部品の交換が他の構成部品に損害を与える場合について。**
- サメス社のテクニカルサポートの事前の同意なく、機器を分解した場合。
- お客様の過失または監督不行き届きにより生じた全ての損害について。
- 機器および/またはその構成部品の通常の消耗、または欠陥および/または異常な使用に起因する劣化または事故が発生した場合。

ピクトグラムの意味

 危険、一般信号 (ユーザー)	 危険：高圧	 爆発性物質	 危険 電気
 有害物質	 腐食性材料	 有害または刺激性のある 材料	 危険：挟む、つぶす
 製品発散のリスク	 危険：高温の部品や表面	 危険：オートスタート、 可動部	 危険性：引火性の危険
 一般債務	 接地について	 取扱説明書/取扱説明書 リーフレット参照	 手袋着用が必要
 保護用ヘルメット	 聴覚保護	 呼吸器保護具の義務化	 安全靴使用
 保護服	 プロテクトバイザー	 必須のメガネ着用	 マテリアルリサイクル

参加資格



レギュレータの作業は、既存の規則および法的規制に従って、2重の注意義務に準拠し、この点に関して指示され、資格を有する人員によってのみ実行されなければなりません。

以下の要件を満たす必要があります。

- ✓ 担当者は、それぞれの技術分野において特別なスキルと経験を有していなければなりません。これは特に、ポンプの機械的および空気圧的な備品に関するメンテナンスおよび修理作業に必要です。
- ✓ 担当者は、適用される規格、指令、事故防止規則および操作条件に関する知識を有していなければならない。
- ✓ 担当者は、安全責任者からそれぞれ必要な作業を行う権限を与えられている必要があります。
- ✓ 作業者は、起こりうる危険を認識し回避する能力がなければならない。

必要な要員の資格は、実施場所によって異なる法令上の規制を守る必要があります。所有者は、適用される法律の遵守を保証する必要があります。

1 安全に関する注意事項

1.1 安全

概要



お客様が自由に使える機器は、業務用としてのみ使用できます。意図された目的にのみ使用する必要があります。

機器を使用する前に、全ての操作説明書と機器ラベルをよく読んで下さい。
この機器を使用する人は、その使用についてトレーニングを受けている必要があります。

ワークショップの管理者は、オペレータが本機器およびインストールの他の要素や付属品の全ての指示と安全規則を完全に理解している事を確認する必要があります。

誤った使い方や操作をすると、重大な傷害を負う可能性があります。

機器の改造はしないで下さい。部品や付属品は、サメス社が供給または承認したもののみとします。

機器は定期的に点検する必要があります。欠陥のある部品や摩耗した部品は交換する必要があります。

機器構成部品の最大使用圧力を超えない様にして下さい。

本装置を使用する目的地のセキュリティ、火災、電気に関する法律を必ず遵守して下さい。

材料と接触する部品に適合する液体または溶剤のみを使用して下さい（材料メーカーのテクニカルデータシートを参照）。

安全機構



注

機器を安全に使用する為にガード（モーターカバー、カップリングガード、ハウジング、...）が設置されております。

ガードの破壊、隠蔽、全部または一部の除去に起因する人身事故、機器の故障および/または損害について、製造者は責任を負いません。

機器構成部品の最大使用圧力を超えない様にして下さい。

圧力の危険性



安全上、エア供給回路には、エア供給が遮断されたときに閉じ込められたエアを逃がす為の**圧力開放エアシャットオフバルブ**を設置する必要があります。

また、機器への介入前に液体を排出できる様、液体システムに**液体排出バルブ**を設置しなければならない（モーターエアを遮断し、減圧した後）。これらのバルブは、操作の間、空気に対しては閉じたまま、製品に対しては開いたままでなければなりません。

有害化学物質の危険性



有毒な物質や蒸気は、体への接触、目や皮膚の下、また摂取や吸入によって重大な傷害を引き起こす可能性があります。これは必須です。

- ✓ 使用する素材の種類とその危険性を知る事ができる。
- ✓ 使用する材料を適切な場所に保管する為です。
- ✓ を、この目的の為に設計された容器に、アプリケーション中に使用される材料を格納する。
- ✓ を、本装置を使用する国の法律に従って廃棄して下さい。
- ✓ には、この目的の為に設計された衣服や保護具を着用する事。
- ✓ ゴーグル、聴力、手袋、靴、カバーオール、呼吸用マスクなどを着用する事。



注意

ハロゲン化炭化水素系溶剤およびそれを含む製品を、アルミニウムや亜鉛の存在下で使用する事は禁止されています。

これらの指示に従わない場合、爆発による重傷や死亡の恐れがあります。

1.2 機器の品質

レギュレータ



- ✓ ポンプの取扱説明書に記載されています。
- ✓ 圧力開放弁とドレンエアバルブが正しく動作している事を確認して下さい。
- ✓ ポンプの作動圧力に耐えられる様に設計された、**サメス社の純正アクセサリ**および**スペアパーツのみ**を使用して下さい。

レギュレータ供給時／ポンプ塗装時・プレッシャーガン／フィルター洗浄時



- ✓ 塗装段階での PPE（メガネ＋手袋＋安全靴）ポンプとプレッシャーガンの着用が義務付けられています。
- ✓ ガンノズルを見ないで下さい。
- ✓ 機器に刻印された最大圧力を厳守して下さい。
- ✓ 機器の部品を洗浄したり取り外したりする前に、強制的に。
 - 圧縮空気の供給を止めてポンプを停止させて下さい。
 - ドレンバルブが開いて下さい。
 - スプレーガンを適切な廃棄物容器に向け、トリガーを押してシステムを減圧して下さい。

ホース

ホースに関する推奨事項。

- ✓ ホースは、通行する場所、動く部品、高温の場所に近づけないで下さい。
- ✓ ホースを60°C以上、0°C以下の高温にさらさないで下さい。
- ✓ ホースを使用して機器を引っ張ったり、移動させたりしないで下さい。
- ✓ 試運転の前に、ホースや接続金具だけでなく、全ての接続部を締め付けて下さい。
- ✓ ホースは定期的に点検し、破損している場合は交換して下さい。
- ✓ ホースに記載されている最高使用圧力（MWP）を絶対に超えない様にして下さい。
- ✓ ホースとガンの組み立てについて：PPE の着用が義務付けられています。
- ✓ 止まで締め付ける（ホース+ガン）。

ノーマルストップ

正常に停止させる事。

- ✓ エアレギュレータを使用して、ポンプを徐々に減圧して下さい。
-

使用材料

ユーザーが使用する素材は多様であり、化学物質の特性、相互作用、経時変化などを全て列挙する事は不可能である為、以下の様にしました。

サメは責任を負いかねますのでご了承下さい。

- ✓ 接触している材料の相性が悪い。
- ✓ 人および環境に対する固有のリスク。
- ✓ 消耗品、故障、材料や機器の不具合、および完成品の品質。

など、使用する素材に内在する潜在的な危険性を特定し、予防する事。

- ✓ 有毒な蒸気。
- ✓ 火をつける。
- ✓ 爆発する。

即効性のある反応や、人員への反復暴露による反応のリスクを判断します。

サメは、万が一の場合、一切の責任を負いません。

- ✓ 身体的または精神的な傷害。
- ✓ 化学物質の使用による直接的または間接的な物的損害。

事業者が実施したハザード分析により、媒体の漏洩の可能性のある事が判明した場合、以下の点を遵守する必要があります。

環境



静電気による危険を避ける為、機器とその部品は必ず接地して下さい。

- ✓ 資格のある電気工事士に、接地の連続性を確認して下さい。接地の導通が確保できない場合は、端子、電線、接地箇所を確認して下さい。この問題を解決しない限り、絶対に機器を操作しないで下さい。
- ✓ ガンは、エアホースまたは液体ホースを通して「接地」する必要があります。
- ✓ また、塗装する機器は、ケーブルに取り付けたクランプや、吊り下げる場合は、常に清潔に保つ必要のあるフックによって「接地」する必要があります。

注意：作業場所にある全ての物も接地する必要があります。

- ✓ 作業場所内に必要以上の可燃物を保管しないで下さい。
- ✓ これらの材料は、承認された接地された容器に保管する必要があります。
- ✓ 溶剤の洗浄には、接地された**金属製のペール缶のみ**を使用して下さい。
- ✓ **ダンボールや紙類は禁止されるべきものです。**これらは非常に低い伝導体であり、絶縁体ですらあります。

マテリアルマーキング



各機器には、メーカー名、機器番号、機器の使用に関する重要な情報（圧力、電力など）が記載された銘板が取り付けられており、場合によっては反対側のピクトグラムが記載されています。

機器は、リサイクルや再利用が可能な高品質の素材や部品で設計・製造されています。

2012/19/EU 欧州指令は、このロゴ（十字のゴミ箱）が付いている全ての機器に適用されます。電気・電子機器に利用可能な回収システムの詳細については、こちらをご覧ください。

お住まいの地域のルールに従い、古い家電製品を**家庭ごみと一緒に捨てない様**にして下さい。この古い電化製品を適切に処分する事で、環境や人体への悪影響を防ぐ事ができます。

2 資料の提示

2.1 コンプリートシステム

2.1.1 図による一般資料



インド	商品説明
A	調整ノブ
B	液体用出口
C	流体入口

使用状況

塗料循環システムで使用される、通路の広い低圧レギュレータです。

レギュレータはステンレス製で、フルフラッシングが簡単にできる様に設計されています。

非意図的な使用

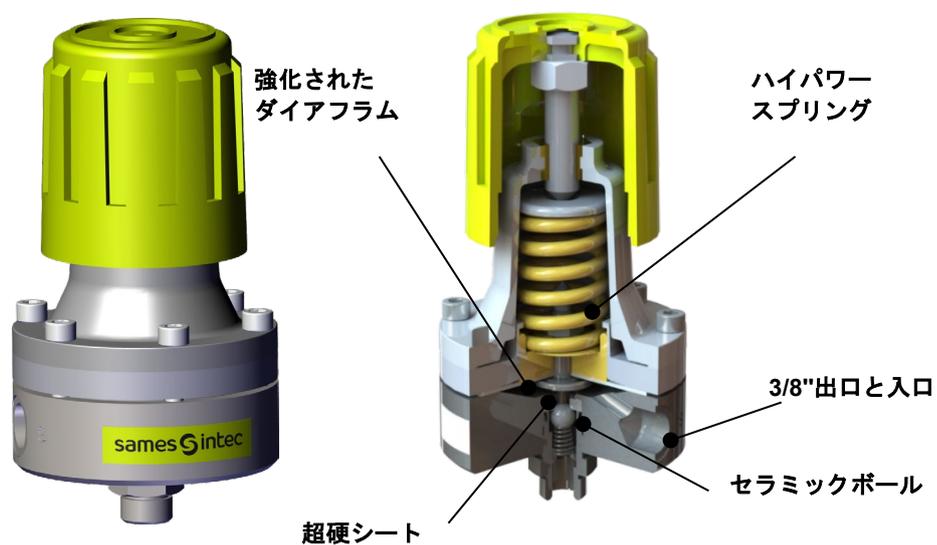
この取扱説明書および「使用目的」に記載された使用方法以外の使用、および指定された使用目的を超えての使用は、非意図的な使用として適用されません。製造者は、意図しない使用によって生じた損害について責任を負いません。このリスクは、使用者が単独で負うものとしします。

次の項目は、不適切な使用または禁止されている使用について説明しています。

- ✓ 流体の搬送が製品仕様に合致していない。
- ✓ いかなる形であれ、レギュレータを改変する事は禁止されています。
- ✓ レギュレータは破損したまま使用しない。
- ✓ 権限のない、訓練を受けていない人、または個人ユーザーによるシステムの使用、メンテナンス、修理、またはコントローラの試運転を行う事。
- ✓ アース無しでのレギュレータ使用。
- ✓ パラメータや動作データが仕様を超えたレギュレータの動作。
- ✓ ポンプ近傍に発火源がある為、発火の危険がある場所でレギュレータの使用。
- ✓ 私的なユーザーによるレギュレータの使用または操作。
- ✓ レギュレータの改造または変換。
- ✓ 指定され為メンテナンス間隔を遵守していない。
- ✓ レギュレータは、指令 1999/92/EC の要件および防爆に関する適用される国内規制に従ってオペレータが対策を講じない限り、ゾーン 0 のガスまたは粉塵の爆発危険区域または爆発危険区域で使用する事はできない。
- ✓ その為の資格を持つ者を介して、エリアとポンプを確認する事なく、最初の試運転を行って下さい。
- ✓ レギュレータの構造に使用された材料と化学的に不適合な製品の使用：レギュレータのオペレーターは、搬送される製品の化学的適合性を管理しなければなりません。
- ✓ 特性（発火温度など）がレギュレータの識別に適合しない製品を使用する事。
- ✓ 安全装置をバイパスした状態でレギュレータを操作する事は禁止されています。

2.2 システムの主要な要素説明

スプリング式低圧液圧レギュレータ

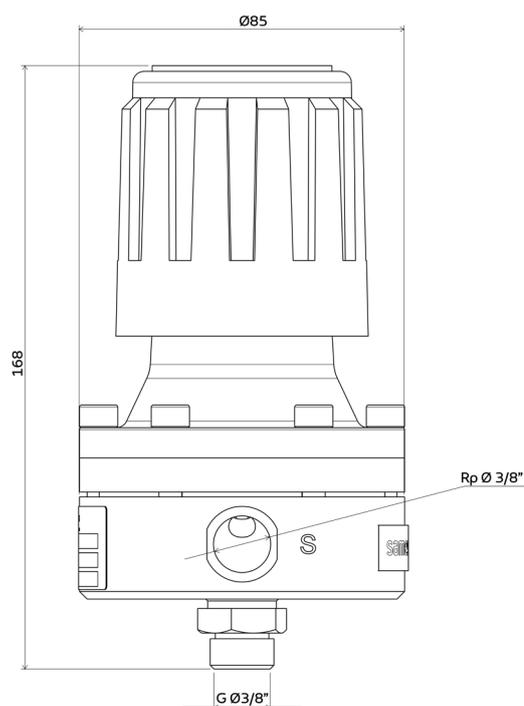


3 機器の識別

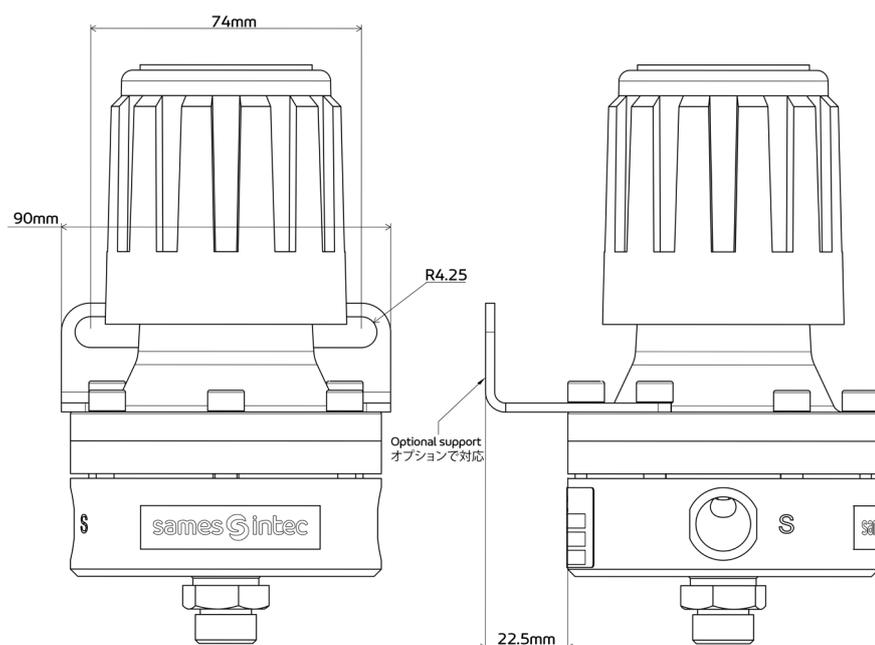
3.1 設備計画

3.1.1 レギュレータ

サポート



サポート



3.2 構成

レギュレータは、以下の通りです。

- ✓ ネジで取り付けができます。
 - ✓ 壁掛け式、サポート付き（オプション）。
-

4 技術的特長と性能

4.1 技術的特徴

スプリング式 低圧液圧レギュレータ



材料入口接続部

M 3/8 BSPP

材料出口接続部×2

F 3/8 BSPP

最大材料供給圧力

2.5MPa/25 bar

最小出口圧力

0.05MPa/0.5 bar

最大出口圧力

0.7MPa/7 bar

最大開放流量

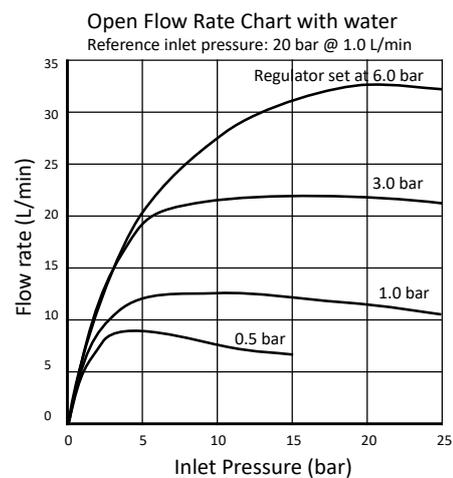
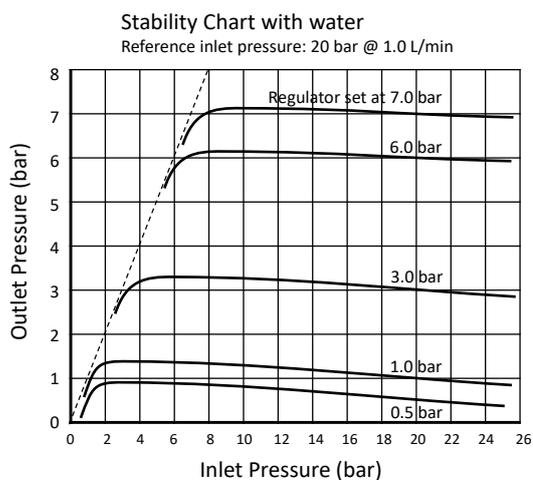
32 L/mn (水)

接液材料

ステンレス鋼、PTFE、超硬合金

重量

1.3 kg



期待される用途

- ✓ イージーデザイン：操作やメンテナンスが簡単です。

パフォーマンス

- ✓ 大流量：最大 32L/min。
- ✓ 最大 0.7MPa/7 bar の圧力調整。
- ✓ 高精度です。±0.02MPa/±0,2 bar @ 0.6MPa/6 bar

生産性

- ✓ 最大 2.5MPa/25 bar の入口圧力で供給され、0.05MPa/0.5 bar ~0.7MPa/7 bar の出口圧力を提供する様に設計されています。
- ✓ レギュレータの出口での液圧調整は、フォスフォアノブによって行われる。

サステナビリティ

- ✓ シンプルで堅牢なレギュレータです。
- ✓ シンプルで最適化された設計により、操作やメンテナンスが容易です。
- ✓ 高品質な素材を使用する事で、耐摩耗性を向上させ、摩擦を低減しています。

5 インストール



警告

不適切な取り付けにより、人体に危険が及ぶ可能性があります。

- ✓ 継手は、流体およびポンプ材料に適合する材質のものを使用して下さい。
- ✓ レギュレータは、発火の原因となる衝撃を与えない様に、専用の壁掛け金具に取り付けて下さい。
- ✓ レギュレータは絶対に水没させないで下さい。

コネクションのサブセット

- ✓ レギュレータを付属のブラケットに固定ネジまたはブラケットを使用して取り付けます。
- ✓ レギュレータが安定した位置にある事を確認して下さい。
- ✓ レギュレータを送液に浸さないで下さい。
- ✓ 接続は、輸送する液体に適合している事を確認して下さい。

5.1 搬送

可能であれば、輸送上の損傷を避ける為に、レギュレータを元のパッケージに入れて輸送して下さい。

5.2 納品範囲確認

- ✓ レギュレータの輸送用梱包を外す。
- ✓ お住まいの地域で施行されている規則を遵守して下さい。
- ✓ レギュレータに輸送上の損傷がないかどうか調べて下さい。
 - 輸送上の損害は、直ちに輸送会社およびサメス社に書面で連絡して下さい。
 - レギュレータをそれ以上傷つけない様に保護して下さい。
- ✓ 配送の完全性を確認する為に、梱包伝票を使用して下さい。

5.3 推薦資料



警告

PPE を必須とする訓練された人員。



- ✓ レギュレータを配管システムの支持体として使用しないで下さい。
- ✓ レギュレータを移動させるときは、レギュレータが倒れない様に注意して下さい。
- ✓ ポンプやホースが破損する恐れがあります。
- ✓ レギュレータの部品に過大な負荷がかからない様に、システム部品を適切に支持する事。
- ✓ 保護接地システムに関連する規制が遵守されている事を確認する。
- ✓ アース以外の電気接続は必要ありません。ポンプは自吸式です。

5.4 保管

各種エア入力や各種開口部（プラグ）を閉めた後、湿気のない場所に機器を置いて下さい。

- ✓ レギュレータを安全な場所に保管する為には、事前に十分に洗淨した後でなければなりません。
- ✓ 極端な保存状態は、経年劣化を加速させます。
- ✓ 保管温度は+10°Cから+25°Cを推奨します。
- ✓ オゾンや電離放射線の影響を除外して下さい。

5.5 取り扱いについて

レギュレータは重量の為（1.3 kg）、その為、レギュレータは手で扱う必要があります。

6 使用開始



警告

詳しくは、「[§1 安全上のご注意](#)」をご覧ください。

6.1 試運転手順

- ✓ 運転中は、常にレギュレータが完全に製品で満たされている事を確認して下さい。
- ✓ 運転中、ポンプ液の出口が妨害されたり、密閉されたりしない事を確認して下さい。
- ✓ 搬送される材料がレギュレータの材料と反応する可能性があります。搬送物をポンピングする前に、レギュレータの材料がその材料に適している事を確認して下さい。
- ✓ コントローラの特殊な動作条件を考慮し、遵守する必要があります。
- ✓ 設置場所でのレギュレータの最初の試運転は、必ず正規の担当者が行って下さい。



警告

過剰な液圧によるレギュレータの破壊・破裂の危険性。

7 診断ヘルプ／トラブルシューティングガイド

トラブルシューティング

レギュレータに手を加える前に、減圧と排水の一般的な手順を実行する事が不可欠です。

- ✓ ガン（バルブ、タップなど）を OFF にロックして下さい。
- ✓ プレートのバルブから空気の供給を止めて下さい。
- ✓ ガン（バルブ、タップ...）のロックを解除して下さい。
- ✓ 液体を回収する為に、ガン（バルブ、タップ...）を金属バケツに近づけます。アースの導通を妨げない様に、このバケツの壁に当てて下さい（金属バケツをアースに置く為に、あぶみ付ワイヤーを使用します）。
- ✓ ガン（バルブ、蛇口）を開けて、ネットワークを排水して下さい。
- ✓ ガン（バルブ、タップ）を OFF にロックして下さい。

介入する前に配線の適合性を確認して下さい。

部品を交換する前に、レギュレータをパージして下さい。

7.1 故障の考えられる症状／故障原因／適用する対処法-高速動作について



警告

介入する前に、[減圧の手順](#)と[安全に関する指示](#)に従う事が必須です。

- ✓ ポンプまたはガンのドレンバルブを開いて、液体ネットワークを減圧して下さい。

レギュレータを正常に動作させる為には、レギュレータエレメントが詰まらない様に定期的に清掃する必要があります。

トラブル	原因	解決方法
液体レギュレータの出口で過大な圧力がかかる	調整ノブを時計回りに回す（全閉状態）	調整ノブを反時計回りに回して下さい。
	シートとボールの間の液密性が悪い	クリーニングして再装着
レギュレータから材料が出てこない。	調整ノブを反時計方向に回す（全開）。	調整ノブを時計回りに回します。
	シート上でボールブロックされる	クリーニングして再装着します。
不規則な流量	流体ネットワークにおける重要すぎる脈動。	吸気圧を調整して下さい。
	シートとボールの間のプルーフネスが不適切。	クリーニングして交換して下さい。
レギュレータのフランジガイド部からの材料漏れ	ダイヤフラムの不具合。	置き換えてみて下さい。
	下半身の締め付けが不適切。	6本のネジを締めて下さい。

製品の流量を正しく調整する為には、レギュレータエレメントが目詰まりしない様に定期的に清掃する必要があります。

8 メンテナンス



警告

詳しくは、[§10 付録の予防保全計画](#)をご参照下さい。

8.1 資格レベル - 予見可能な介入

レギュレータは簡単に分解できる為、この種の作業は、平均的な資格を持つ認定技術者が、メンテナンス指示書と分解・再組立手順で定められた携帯工具（レンチ、ドライバーなど）を使って、現場で実施する事が可能です。

個人用保護具(PPE)を着用する。

8.2 安全上のご注意 - 予防的なメンテナンス



注意

詳しくは、「[§1 安全上のご注意](#)」をご覧下さい。

介入する前に、[減圧の手順](#)を踏む事が必須です。

レギュレータを正常に動作させる為に、常に清潔な状態に保って下さい。

レギュレータはシールを除き、耐摩耗性に優れています。

その為、レギュレータの定期的な点検をお勧めします。

故障や流量の減少があった場合、以下の作業を行う事ができます。

- ✓ ダイアフラムを交換して下さい。
- ✓ シールを交換して下さい。
- ✓ シートとニードルを交換して下さい。
- ✓ ボールとシートを清掃するか、スプリングを交換して下さい。

8.3 メンテナンス周期

一定の稼働時間が経過したら、計画的にメンテナンスを行う事をお勧めします。

これはユーザーのメンテナンス部門によって定義され、製品、作業速度、通常の圧力に依存して下さい。

このメンテナンスは、切傷や磨耗のある部品を交換し、劣化させる可能性のある研磨材を使用せず、適合する製品で器官を洗浄する事です。

コントローラーの[分解・再組立](#)、[スペアパーツ](#)をメモして下さい。

8.4 洗浄

レギュレータを傷つける可能性のある研磨材を使用せず、互換性のある製品でクリーニングする事をお勧めします。

余分な製品を排出し、ボール劣化の原因となる残留痕跡を除去する為。

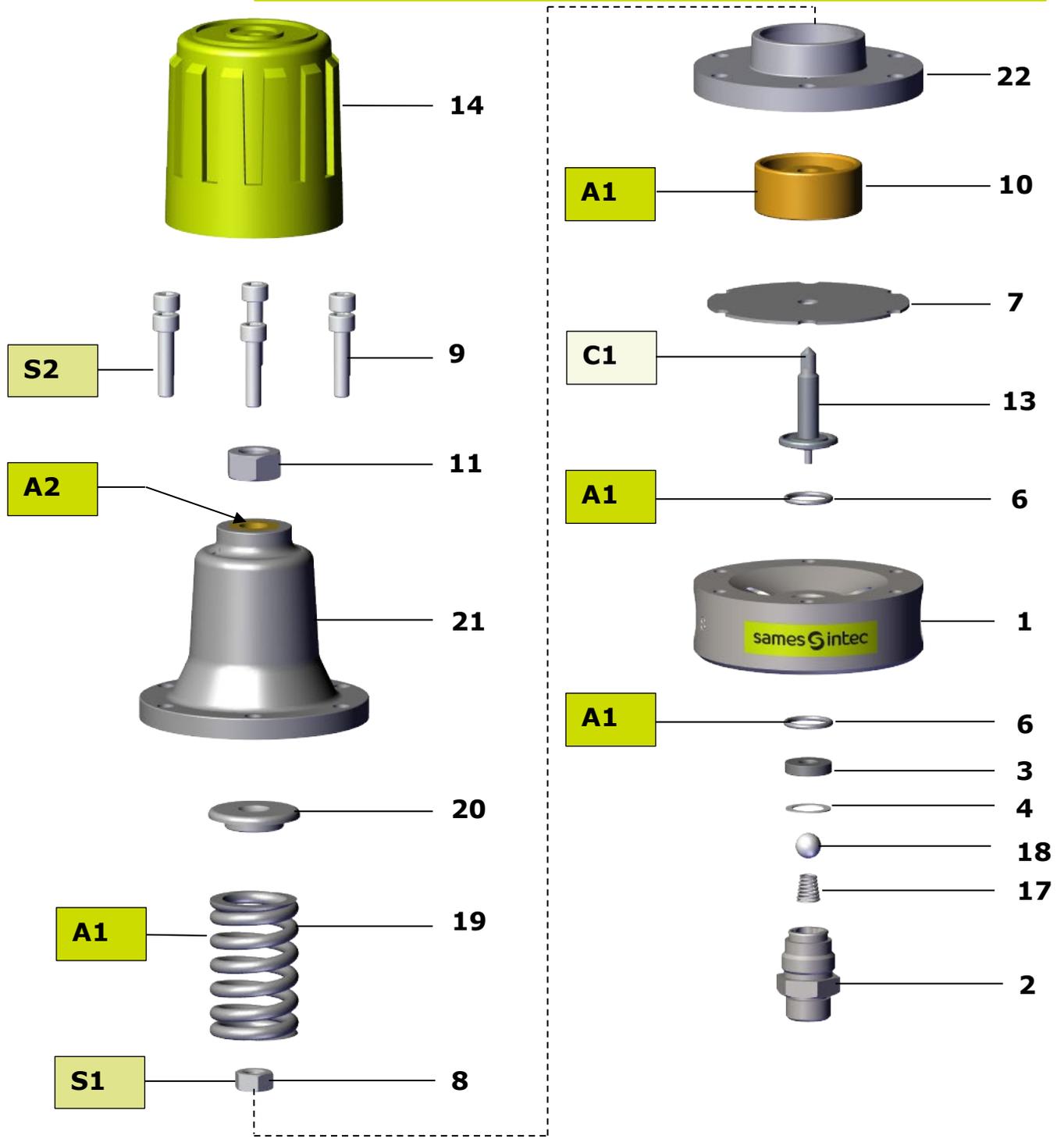
特に、ダイヤフラムとシールには注意が必要です。これらが洗浄できない場合は、交換する必要があります。

8.5 分解・再組立



注意

介入する前に、[減圧の手順](#)と[安全に関する指示](#)に従う事が必須です。



グリース および スレッドロッカーの指定。

インデックス	インストラクション	商品説明	品番
A 1	PTFE グリース	'TECHNI LUB'グリース (10ml/0.0026US ガロン)	560.440.101
A 2	焼き付き防止グリース	グリスボックス (450g)	560.420.005
C 1	中強度 嫌気パイプシーラント	ロックタイト 5772 (50ml)	554.180.015
S 1	ねじ込みトルク : 2 Nm / 1.47 ft/lbs		
S 2	ねじ込みトルク : 10 Nm / 7.4 ft/lbs		

予備動作

- ✓ スプレーガンのエアキャップを外し、溶剤に入れて下さい。
- ✓ 材料容器から吸引棒を取り出し、溶剤を満たした容器に浸す。可燃性溶剤のある場所では、適切な予防措置を講じて下さい。
- ✓ スプレーガンを材料容器に向け、ガンの引き金を押す。溶剤が流れ出したら、スプレーガンを回収容器に向けて下さい。
- ✓ 溶剤が澄んできれいに流れ出したら、ガンを離して下さい。

8.5.1 レギュレーションバルブ (2) の清掃

- ✓ 材料入口接手とバルブ接手のネジを外して下さい(2)。
- ✓ スプリング(17)とボール(18)を取り外して下さい。
- ✓ ホワイトスピリットまたは適切な洗浄溶剤で部品を洗浄するか、部品を交換して下さい。
- ✓ 再組立の際は、シール(6)を交換して下さい。
- ✓ レギュレータを垂直に立てて、全ての部品を再組み立てする
- ✓ バルブ接手(2)を締め付けた後、スプリング(17)が他の部品と正しく並んでいる事を目視で確認して下さい。

8.5.2 シートホルダーアセンブリ(3)、ニードルアセンブリ(8)、ダイヤフラム(7)の交換

分解

- ✓ ネジ (9) 6本を外し、下部ボディ (1) を外して下さい。
- ✓ インレットフィッティングとバルブフィッティングのネジを外して下さい(2)。
- ✓ スプリング(17)とボール(18)を取り外して下さい。
- ✓ 下半身(1)とフラットシール(4)から外すには、シートホルダー(3)を押して下さい。
- ✓ ハット (21) 、アッパースプリングサポート (20) 、スプリング (19) を外して下さい。
- ✓ ダイアフラム(7)をフランジ付きガイド(22)から取り外して下さい。
- ✓ ダイアフラムを注意深く引き、ニードルアセンブリ (8)、ピストン (10) およびナット (8) を外して下さい。

注意



ニードルを引っ張らないで下さい。部品が破損する恐れがあります。

- ✓ ナット(8)を緩めて、ピストン(10)を取り外して下さい。
- ✓ ダイアフラム(7)を取外して下さい。

再組立

- ✓ ニードルアセンブリに配置されたシール (6) を交換して下さい。
- ✓ ピストン(10)に PTFE グリースを塗布して下さい。
- ✓ ダイアフラム (黒色は空気室、灰色は材料室) とピストン (10) をセットして下さい。
- ✓ 軸通し(13a)を接着剤で塗布する。工具を使わずに針アセンブリにナット(8)をねじ込んで下さい。
- ✓ 軸の端 (13a) をペンチで握り、平レンチ n°13 (ねじ込みトルク : 2Nm) でナットを少しねじ込んで下さい。
- ✓ アセンブリをフランジ付きガイド (22) に取り付け、スプリング (19) 、上部スプリングサポート 20) 、ハット (21) を交換して下さい。
- ✓ レギュレータ本体(1)を部品の位置関係を確認しながら取り付け、ネジ(9)6本で固定して下さい。

- ✓ シートホルダー(3)、ボール(18)、スプリング(17)、バルブ継手(2)を再装着して下さい。
- ✓ シール 2 枚 (4、6) を交換して下さい。
- ✓ シートを交換する必要がある場合は、ボール(18)も一緒に交換して下さい。

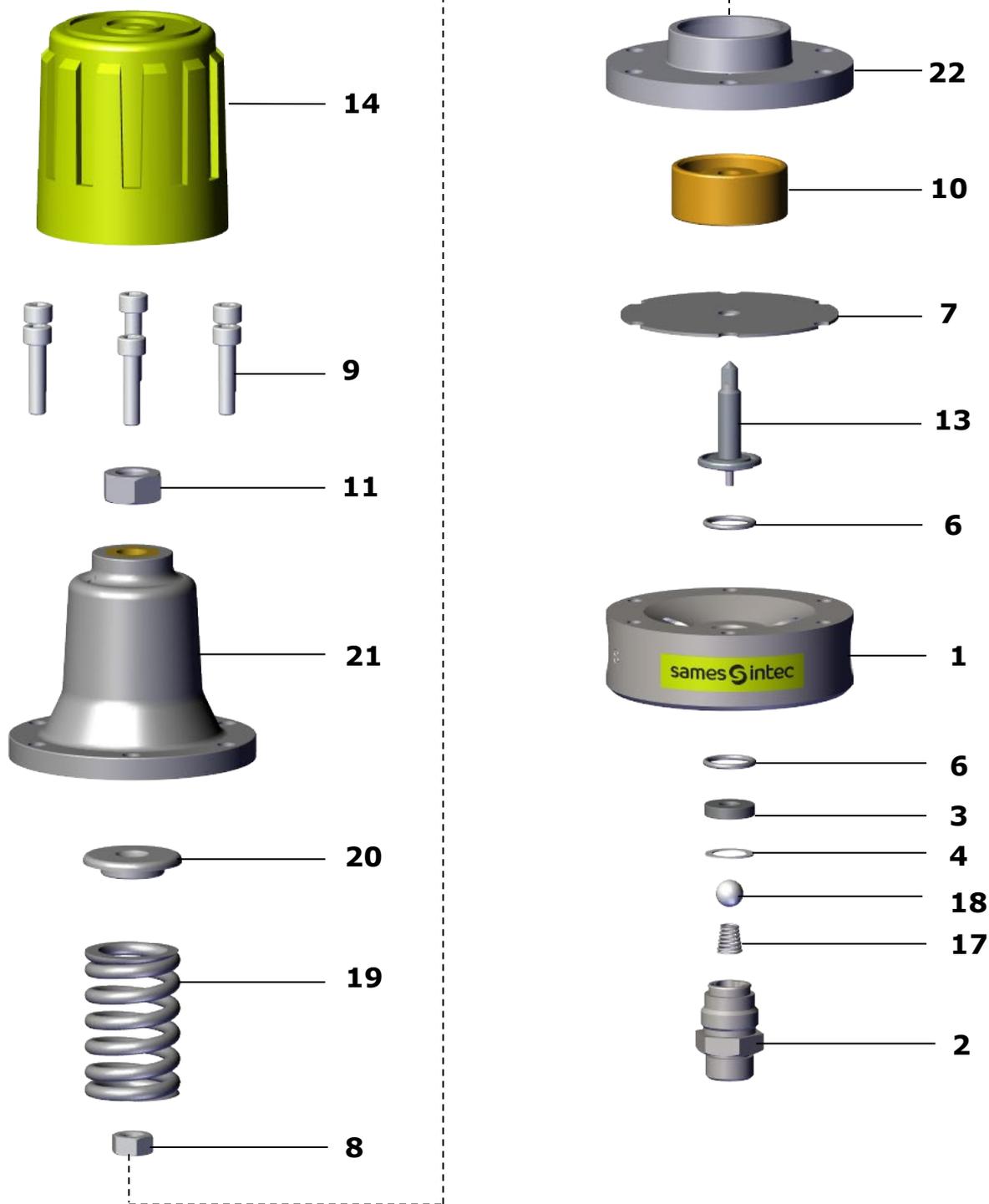


注

シートホルダはリバーシブル(両面使用可)です。初回整備時には、上下逆さまに取り付ける事ができます。2回目の点検時のみ交換が必要です。

9 スペアパーツ

ポンプの運転圧力に耐えられる様に設計された、SAMES 純正のアクセサリーやスペアパーツのみを使用して下さい。



9.1 部品表

インド	# 品番	品名	数量	レベル**
-	155 610 600	低圧の流動調整装置 ばね制御 BP 25 - 0.5/7 VLP	1	-
1	TBD	ボディ	1	0
2	TBD	バルブ接手	1	3
3	055 610 004	超硬シート	1	2
4	055 610 005	フラットシール	1	1
6	150 040 314	PTFE Oリング (10個入り)	2	1
7	TBD	ダイアフラム	1	1
8	953 010 019	ナット、モデルHM 8	1	0
9	933 151 332	ネジ、モデルCHc M 6 x 25	6	0
10	055 610 210	ピストン	1	3
11	953 024 023	ナット HM 12	1	0
13	155 610 260	ニードルアセンブリ	1	2
14	055 610 017	アジャストノブ (フォスフォア)	1	3
17	050 312 225	コニカルスプリング	1	2
18	907 414 223	ボール、モデルØ 9.52 / 0.37"	1	1
19	050 319 501	スプリング (4 bar / 58 psi)	1	2
20	016 200 004	アッパーバルブカップ1/2	1	0
21	016 200 100	ハット	1	0
22	055 610 211	フランジ付きガイド	1	3
-	-	液剤注入口フィッティング:	1	3
-	029 020 007	▪ ステンレス製ペイント接手M 18x125	1	3
-	029 020 008	▪ ステンレス製ペイント接手 M 3/8 NPS	1	3
-	029 020 009	▪ ステンレス製ペイント接手 M 3/8 BSP	1	3

**レベル 0 :部品はスペアパーツではありません。

レベル 1 : 予防保全。

レベル 2 : 修正メンテナンス。

レベル 3 : 例外的なメンテナンス。

9.1.1 サービスキット

インド	# 品番	品名	数量	レベル**
*	TBD	スペアキット：ピストン-フランジガイド (インデックス7、10、22)	1	2
*	TBD	サービスキット (インデックス3、4、6x2、7、13、17、18)	1	1

9.2 オプション

インド	# 品番	品名	数量
	016 200 010	壁掛け対応	1
サポートを取り付けるには、以下のリファレンスを注文する必要があります。			
-	933 011 198	ネジ、H 8 x 16	2
-	953 010 019	ナット、HM 8	2
-	963 040 019	ウォッシャー、MN 8	2